

第5章 新市名称候補選定小委員会

新市名称候補選定小委員会（以下、「小委員会」という）は、合併協議会第2回会議において、新市の名称は、住民の関心が高い項目のひとつであり、住民生活の基本となるもので、住民の一体感をつくり地域の歴史と文化の継承と、新たな創造に向けて重要な役割を担うものであることから、設置されたものです。

第1回会議は、平成15年5月26日午前10時から桑名市消防本部で開催されました。以降3回にわたり、多角的な視点から協議、選定が精力的に行われました。

表5-1 1市2町の名称の由来

名 称	名 称 の 由 来
桑名市	<p>桑名という名称は、桑名一帯を支配していた豪族「桑名首（おびと）」の名前からとったとか、桑の木が多く植えてあった所から名付けられたとかいろいろ説があります。仮名では「久波奈」の字があてられました。</p> <p>桑名の文字は、漢字が大陸から渡来した後書かれ、現存文献では、日本書紀天武紀に始めて見えているが、「くわな」の地名は、それ以前はるかに古い時代からの称呼であった。</p> <p style="text-align: right;">（桑名市史）</p>
多度町	<p>多度という名称は、西日本を中心に散見され、古くから多度・田堵・田戸・田渡・田土・田門・田刀・田跡・田都・太渡・田富・田後などさまざまな地名が見えるが、その名の由来については確かなことは分からない。</p> <p>「多度」の名は遠く奈良時代に多度神宮寺として、さらに古くは5世紀創祀といわれる多度神社が歴史の上に登場する。</p> <p>史料・文献によると、</p> <p>イ、田堵・田戸は平安時代、荘園の請作者として活動した農民あるいはその居住地をいう。</p> <p>ロ、「タド」は「田所」のことで、良質の田の広がる土地のこと。</p> <p>ハ、「タト」の原語の「タチ」（高くなったところ）が転じたもの。</p> <p>ニ、「タド」は昔の製鉄にちなむタダが転訛したもの。</p> <p>ちなみに、『日本書紀』には天目一箇命（多度一目連神社祭神）を鍛冶の役にされたとあり、『古語拾遺』には天目一箇命は金属工業の祖神であると記載されている。</p> <p style="text-align: right;">（多度町史）</p>
長島町	<p>長島という名称は、多くの島州を併せて七島と称したとか、長い形をしているから長島、七島が訛って長島という説があります。</p> <p>長島の地名は、信長公記または一向一揆関係の文書にも記されており、おそらくは、この時代には既に用いられていました。</p> <p style="text-align: right;">（長島町誌）</p>



1 小委員会委員

小委員会は、行政側委員が助役あるいは収入役の3人、議会側委員が各議会選出議員の3人と、学識経験者として、各自治体とも公募によるそれぞれ1人からなる9人で構成され、委員長には大森 恵長島町議会議員が、副委員長には、竹石正徳 桑名市議会議員と磯貝貞夫 多度町議会議員が委員の互選により選出されました。

表 5-2 桑名市・多度町・長島町合併協議会 委員名簿

	氏 名	所属・役職名	備 考
1市2町の 助役あるいは 収入役	小 西 良 輝	桑名市助役	
	水 谷 孝 芳	多度町収入役	
	黒 田 博	長島町収入役	
1市2町の 議会が選出 する議員	竹 石 正 徳	桑名市議会 議員	副委員長
	磯 貝 貞 夫	多度町議会 議員	副委員長
	大 森 恵	長島町議会 議員	委員長
学識経験を 有する者	市 川 景 範	桑名市 公募委員	
	伊 藤 三 洋	多度町 公募委員	
	野 原 俊一郎	長島町 公募委員	

(順不同・敬称略)

2 小委員会の会議内容

第1回会議日程

桑 名 市 消 防 本 部 2 階 研 修 室
平成 15 年 5 月 26 日 (月曜日) 午前 10 時 開議

1. 開 会
2. 委員の紹介
3. 委員長及び副委員長の選出について
4. 議 事
 - (1) 報告事項
 - 新市名称候補選定小委員会規程について
 - 新市名称候補選定小委員会の役割について
5. その他
6. 閉 会

《会議結果》

合併協議会における小委員会の役割・位置づけ、1市2町の名称の由来が報告されました。

その上で次回は、1市2町の名称について、歴史的・文化的な観点から郷土史の研究者による勉強会を実施することになりました。

第2回会議日程

多度町役場 2階 201会議室
平成15年6月16日(月曜日)午後1時30分 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 会議録署名委員の指名について
4. 議事
(1) 報告事項
 小委員会に関する合併協議会・第4回会議事項について
5. 研修会
 1市2町郷土史研修会
6. その他
7. 閉会

《会議結果》

第1回会議において、提案のあった1市2町の郷土史研修会が実施されました。桑名市の由来については、西羽 晃さんが、多度町の由来は草薙 均さんが、長島町の由来については諸戸 靖さんがお話になられ、その後、講師を交えた意見交換をしました。

意見交換では、公募方式についての議論に及びましたが、地名は文化遺産であり、大切に継承する必要があることから公募によるのではなく、小委員会として、責任をもった名称を合併協議会に提案すべきであるとの意見でまとまりました。

第3回会議日程

長島町役場 大会議室
平成15年7月10日(木曜日)午後1時30分 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 会議録署名委員の指名について
4. 議事
(1) 協議事項
 新市名称候補の選定について
5. その他
6. 閉会

《会議結果》

これまでの協議の経過を踏まえて、委員による無記名の投票(複数可)を行いました。

その結果は、「桑名市(くわなし)」が7票、「くわな市」、「久波奈市(くはなし)」、「九華市(くはなし)」、「川津市(かわづし)」及び「川美市(かわびし)」が各1票となり、最多得票を獲得した「桑名市」を平成15年8月5日の合併協議会第6回会議に提案することとなりました。